

2. 岡山大学における学び

岡山大学での学びについて少し理解できましたか？おそらく高校までとは違う印象を持たれたのではないのでしょうか。学ぶ内容が違えば方法も異なります。ここでは、大学の授業のしくみについて説明します。

2-1 学年暦

岡山大学の一年間は、高校と同じ4月から翌年3月までの**年度方式**をとっています。

2023年度の行事予定である学年暦や皆さんに関係する大事なスケジュールは4頁の主要なスケジュールにあります。

2-2 学年と学期

岡山大学では、2016年度から、1学年を4分割する4学期制を導入していますが、夜間主コースでは、1学年を「前期」と「後期」に2分割する**2学期制**を当面の間採用します。多くの授業は、1科目について14回行うことを基本としていて、学期ごとに完結します。

2023年度

学 年		4月 1日 ~ 3月31日（翌年）
前 期 (4月1日~ 9月30日)	第1学期	4月 1日 ~ 6月 8日
	第2学期	6月 9日 ~ 8月10日
	夏季休業	8月11日 ~ 9月30日
後 期 (10月1日~ 3月31日)	第3学期	10月 1日 ~ 11月30日
	第4学期	12月 1日 ~ 2月14日 (冬季休業：12月25日~1月4日)
	春季休業	2月15日 ~ 3月31日

※年度により、各学期の開始・終了日は異なります。学期の開始・終了日については、年度毎に公示します。

2-3 授業日程と授業時限

岡山大学の授業は、1科目14回が基本です。なお、期末試験を行う場合は15回となります。

また、昼間主における1回の授業時間（1時限）は50分で、原則として1日8時限の授業が行われます。時限ごとの授業時刻は次のとおりです。

夜間主コースの9限目・10限目の授業時間は、90分となりますので、注意してください。

1時限目	8:40 ~ 9:30
2時限目	9:40 ~ 10:30
3時限目	10:45 ~ 11:35
4時限目	11:45 ~ 12:35
5時限目	13:25 ~ 14:15
6時限目	14:25 ~ 15:15

2. 岡山大学における学び

	7時限目	15:30 ~ 16:20
	8時限目	16:30 ~ 17:20
	9時限目	17:30 ~ 18:20
	10時限目	18:30 ~ 19:20
夜間主コース	9時限目	18:00 ~ 19:30
	10時限目	19:40 ~ 21:10

なお、授業科目によっては、時限を通して行うものや週2回開講するもの、集中講義で行うものなどがありますので、注意してください。

2-4 単位の基準

大学での学修は単位制度を基本としています。

1単位は、教員が教室等で授業を行う時間及び学生が事前・事後に教室外において準備学習・復習を行う時間の合計で標準45時間を要する教育内容をもって構成されています。

ただし、単位数は、個々の授業の種類や形態によって異なります。

岡山大学の教養教育科目については、次の基準により1単位が設定されています。なお、「大学の授業による学修時間」には期末試験に要する時間を含みません。

岡山大学の教養教育科目については、次の基準により1単位が設定されています。

授業の種類・方法	大学の授業による学修時間	授業時間外の学修時間
講義	15時間	30時間
演習	15～30時間	30～15時間
実験	30～45時間	15～0時間
実習	30時間	15時間

通常、講義科目1単位を修得するためには、1回1時間の授業に15回出席し、当該授業に関する自学・自習・レポート作成等を行い、さらに試験等に合格することが必要です。

2-5 成績の評価

岡山大学ではGPA制度を導入しています。GPAとは、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、欧米で一般的に行われている成績評価制度のことです。

GPA制度の成績の表し方とGP（グレード・ポイント）の換算は次のとおりです。

評語	GP	評点	基準等
A+	欄外のGP算出方法を参照	90～100点	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
A		80～89点	到達目標を達成し、優秀な成果を収めている。
B		70～79点	到達目標を達成し、良好な成果を収めている。

2. 岡山大学における学び

C		60～69点	到達目標を概ね達成している。
F	0	0～59点	到達目標を達成していない。（単位を授与しない。）
認定	対象外	付さない	① 入学前の既修得単位及び転学、編入学等の既修得単位について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を授与する場合 ② 他の大学等において履修し修得した授業科目の単位又は大学以外の教育施設等における学修について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし単位を授与する場合で、評点により評価しがたい場合
修了	対象外	付さない	本学の開設する授業科目のうち、授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、若しくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で不合格（単位を授与しない。）とする場合

G P（グレード・ポイント）算出方法

$$G P = (\text{評点} - 55) / 10$$

※ただし、評語「F」（不合格：評点60点未満）のG Pは0とします。また、「認定」，「修了」，「未修得」については、対象外としG Pを付しません。

1. G P A制度導入の目的

- ①成績不振の学生をいち早く発見し、アカデミック・アドバイザーの教員を中心に適切な指導を行うこと。
- ②G P Aを目安にして学生に履修登録科目数の自主規制を促し、計画的な履修を促すこと。
- ③学生に対して修得単位数だけでなく、個々の単位のレベルアップを図るよう喚起すること。

2. G P Aの算出方法

履修登録した科目ごとにG Pに単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割って算出します。

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のG P}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

G P Aの実際の計算方法例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	G P (b)	a × b
〇〇学概論	1	95	A+	4	4.0
〇〇学要説	1	85	A	3	3.0
□□学演習Ⅰ	1	55	F	0	0
□□学演習Ⅱ	0.5	70	B	1.5	0.75
△△基礎実験	0.5	90	A+	3.5	1.75
計	4				9.5

2. 岡山大学における学び

前ページの表の学生の場合

履修登録した授業科目の単位数の和＝4

(履修登録した授業科目の単位数×当該授業科目のG P) の和＝9. 5

$$\text{GPA} = 9.5 \div 4 = 2.375 \quad \Rightarrow \quad \underline{2.38}$$

※小数点第3位は四捨五入します。

3. GPAの対象とならない科目

- ・ 評点を示さず，認定または修了によって単位を取得できる科目
- ・ 岡山大学以外で修得した科目を単位として認めたもの
- ・ 履修登録後において，履修取消手続きを行った授業科目

2. 岡山大学における学び

2-6 特別な単位の認定

2-6-1 入学前の既修得単位の認定

下記の者については、大学・短大等における既修得単位が認定されることがあります。詳細については各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

1. 大学または短期大学を卒業あるいは中途大学した者で、新たに第1年次に入学した者
2. 編入学した者

2-6-2 放送大学の修得単位の認定

本学が指定した放送大学の開設科目を修得した場合、単位の認定が認められることがあります。詳細については所属学部の学生便覧を参照してください。

2-6-3 外部検定試験による単位の認定

GTEC, TOEIC, TOEFL等の外国語技能検定試験のスコアや成績により、言語科目の単位認定を申請することができます。単位認定基準は、18点〜20点のとおりです。
なお、単位認定の申請手続きは、各学部の教務学生担当窓口で行ってください。

2-6-4 留学による単位の認定

岡山大学交換留学プログラム（EPOK）など、本学との交流協定に基づき外国の大学に留学した場合などには、留学先大学での修得単位が本学の修得単位として認定されることがあります。詳細については各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

2-6-5 他の大学・高等専門学校等との単位互換協定に基づく修得単位の認定

本学との単位互換協定に基づき、他大学や高等専門学校専攻科等の授業科目を履修した場合には、他大学等で修得した単位が本学での修得単位として認定されることがあります。

岡山大学では、岡山県内の大学で構成する「大学コンソーシアム岡山」の単位互換協定に参加しています。これらの単位互換制度については、前期は4月第1週頃、後期は7月から9月中旬頃に履修生の募集を行います。募集時期等の詳細については、掲示等でお知らせします。

その他の大学等についても、協定に基づき単位を認定するものがあります。詳細については各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

認定については、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとします。

2023年度入学者（夜間主コース）

外国語の種類	単位認定の対象とする外部検定試験	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
英語	TOEIC Listening & Reading 又は TOEIC Listening & Reading IP	800点以上	教養教育科目の英語科目のうち、 以下を除く全ての授業科目	4単位まで
	実用英語技能検定（英検）	1級	英語（ネイティブ）	
	国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	A級	英語（オラコン）	
	TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	554点以上	英語（作文・文法）	
	TOEFL iBT	75点以上	英語（読解）	
	IELTS	6.0点以上	英語（検定）	
	GTEC Academic 4技能	646点以上		
	GTEC Academic 2技能	331点以上		
	TOEIC Listening & Reading 又は TOEIC Listening & Reading IP	750点以上	教養教育科目の英語科目のうち、 以下を除く全ての授業科目	2単位まで
	実用英語技能検定（英検）	準1級	英語（ネイティブ）	
	国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	B級	英語（オラコン）	
	TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	532点以上	英語（作文・文法）	
	TOEFL iBT	68点以上	英語（読解）	
	GTEC Academic 4技能	613点以上	英語（検定）	
	GTEC Academic 2技能	313点以上		
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験（独検）	2級以上	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本） ドイツ語中級	4単位まで
		3級	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本） ドイツ語中級	3単位まで
		4級	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本）	2単位まで
		5級	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1単位まで
フランス語	実用フランス語技能検定試験（仏検）	3級以上	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本） フランス語初級Ⅱ（文法） フランス語初級Ⅱ（読本） フランス語中級	4単位まで

		4 級	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本） フランス語初級Ⅱ（文法） フランス語初級Ⅱ（読本）	2 単位 まで	
		5 級	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本）	1 単位 まで	
中国語	漢語水平考試（HSK） （筆記試験のみ） ※5 級・6 級については、180 点 以上のスコアを獲得した場合、単位 認定の対象とする。	4 級以上	中国語初級Ⅰ（文法） 中国語初級Ⅰ（読本） 中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本）	4 単位まで	
	中国語検定試験（中検）	2 級以上	中国語中級 中国語上級		
	漢語水平考試（HSK） （筆記試験のみ）	3 級	中国語初級Ⅰ（文法） 中国語初級Ⅰ（読本） 中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本） 中国語中級	3 単位まで	
	中国語検定試験（中検）	3 級			
	漢語水平考試（HSK） （筆記試験のみ）	2 級	中国語初級Ⅰ（文法） 中国語初級Ⅰ（読本）	2 単位 まで	
	中国語検定試験（中検）	4 級	中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本）		
	漢語水平考試（HSK） （筆記試験のみ）	1 級	中国語初級Ⅰ（文法） 中国語初級Ⅰ（読本）	1 単位 まで	
	中国語検定試験（中検）	準4 級			
韓国語	韓国語能力試験	2 級以上	韓国語初級Ⅰ－1 韓国語初級Ⅰ－2 韓国語初級Ⅱ－1 韓国語初級Ⅱ－2 韓国語中級	4 単位まで	
		1 級	韓国語初級Ⅰ－1 韓国語初級Ⅰ－2 韓国語初級Ⅱ－1 韓国語初級Ⅱ－2	2 単位 まで	
スペイン語	スペイン語技能検定	4 級以上	スペイン語ベーシック1～4 スペイン語ステップアップ	4 単位まで	
		5 級	スペイン語ベーシック1～4	2 単位 まで	
		6 級	スペイン語ベーシック1及び2	1 単位 まで	
イタリア語	実用イタリア語検定	3 級以上	イタリア語ベーシック1～4 イタリア語ステップアップ	4 単位まで	
		4 級	イタリア語ベーシック1～4	2 単位	

				まで
		5 級	イタリア語ベーシック 1 及び 2	1 単位 まで

備考 1 「GTEC Academic 4 技能」のスコアのうち、2 技能のみを用いて、「GTEC Academic 2 技能」の単位認定の対象とすることはできない。